

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 加古川健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">平成28年度ひょうご食生活実態調査(15歳以上)から、東播磨圏域では、「主食・主菜・副菜の3つを組み合わせた食事を1日に2回以上を週6日以上食べる人の割合」が47.3%と、兵庫県食育推進計画(第3次)における目標値(70%以上)に達していない。また、朝食に副菜を食べている人の割合が36.9%と全県(39.9%)と比較して低く、1日あたりの野菜の摂取量が254gと1日あたりの平均摂取量の目標値(350g)に達していない。特に若い世代は、食に関する知識や意識、実践の面で他の世代より課題が多く、さらなる取組の強化が必要である。
今年度の推進方策	若い世代の食育力強化に向けて、食生活改善にむけた啓発媒体を、学識経験者や医療機関、関係団体、食品関連事業者(食の健康協力店)、市町等と協働し、作成する。
成果	<ul style="list-style-type: none">地域の食生活課題と目標の共有を図ることができ、課題解決に向けて共に検討し、啓発活動が効果的と思われる対象者とテーマの設定ができた。活動分野や日頃関わる対象者(住民)が異なる機関が意見を出し合い、それぞれの活動において活用できる啓発媒体(朝食の内容の充実)を作成することができた。関係機関が互いの活動について理解を深め、各々の知識とスキルを共有することにより、関係機関の活動の充実につながる情報交換が実施できた。
今後の方向性	今年度作成した媒体を活用し、各関係機関が若い世代(特に食生活を意識する妊産婦)に対し、朝食の内容の充実に向けて普及啓発を行う。

2 会議の開催状況

実施日時	令和2年9月8日(火) 13:30~15:00
参集者 (団体数 及び人数)	食育に関する学識経験者、医療機関、食品関連事業者(食の健康協力店)、加古川健康福祉事務所管内栄養士会、加古川健康福祉事務所管内いずみ会、市町(母子保健所管課、児童福祉所管課)関係機関 計 11機関・11名
協議内容	<ul style="list-style-type: none">事業の趣旨説明令和2年度の実践活動について(対象者の具体化、啓発媒体の方向性の検討)
今後の方策	地域の食生活課題解決に向けて、啓発媒体の効果的な活用方法を検討する。

3 食育実践活動の結果

テーマ	若い世代の食生活課題の改善に向けて		
対象及び参加者数	①関係機関（6機関6名） ②関係機関（5機関5名） ③関係機関（7機関7名）※新型コロナウイルス感染症の状況により書面開催		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	①10月5日(月) 13:30～15:00 加古川総合庁舎	次年度の食育実践活動へ向けたワーキング ○若い世代を対象とした朝食内容の充実に向けた啓発媒体を作成。対象者の具体化、掲載内容、形態等を検討。	医療機関 食の健康協力店 管内栄養士会 市町母子保健機関
	②10月30日(金) 13:30～15:00 加古川総合庁舎		
	③11月25日(水) ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より書面開催		
成 果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代（特に妊産婦）を対象とした、朝食の内容充実に向けた啓発媒体を、関係機関と協力し完成させることができた。 ・活動分野が異なる機関が互いの活動について理解を深め、それぞれの知識とスキルを共有することができた。 ・栄養士など専門職の配置有無に関わらず、関係機関が食育の充実に向けて積極的に活動する意識付けを行う機会となった。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本プロジェクトを通じて、関係機関の活動について理解できたか。 できた・ややできた…100% (2) 地域の食の課題について把握できたか。 できた・ややできた…86% (3) 今後地域課題を改善するために、食育の充実に向けた活動を実施したいか。 思う・やや思う…86% (4) 今年度作成した媒体を貴所属において活用できそうか。 できそう・ややできそう…86% 		
今後の課題	今年度作成した媒体を活用し、関係機関が若い世代（特に妊産婦）に対し、効果的に普及啓発を行う。		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

～令和2年度健やか食育プロジェクト事業～ 若い世代の食生活の課題改善に向けて

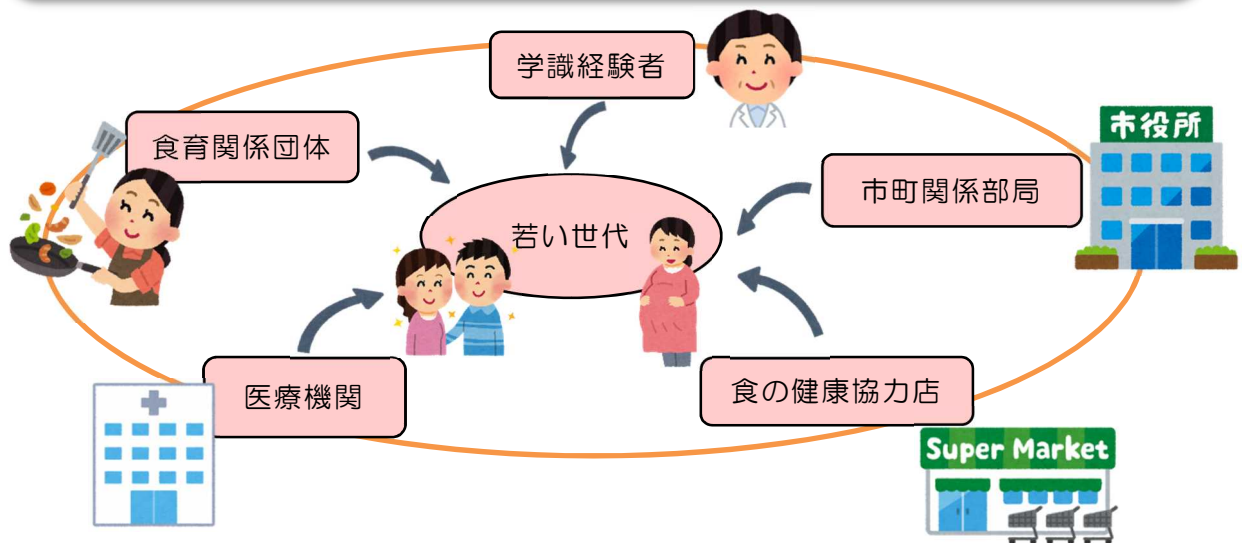
加古川健康福祉事務所

背景

若い世代は、朝食の欠食や朝食に副菜を食べている人の割合が低いこと等、食に関する知識や、意識、実践の面で他の世代より課題が多い。県食育推進計画（第3次）の重点課題である、若い世代の食育力の強化は、東播磨地域でも同様に課題である。

方向性

- ・医療機関、食の健康協力店、市町、その他関係団体が、地域課題と目標を共有し、若い世代の食生活の課題改善に向けた普及啓発活動を実施する。
- ・分野が異なる機関が互いの活動の理解を深め、知識やスキルを共有し、関係機関の地域活動の充実を図る。



健やか食育プロジェクト会議の設置

構成員 食育に関する学識経験者、医療機関、食品関連事業者（食の健康協力店）、加古川健康福祉事務所管内栄養士会、加古川健康福祉事務所管内いずみ会、市町（母子保健所管課、児童福祉所管課）関係機関

【内容】

- 趣旨説明（2ヶ年計画の流れについて）
- 東播磨地域の食生活の課題の共有
- 課題解決に向けた普及啓発活動の検討

【検討結果】

- 若い世代の中でも食生活を意識する妊産婦を対象に普及啓発を実施する。
- 朝食の欠食を改善するだけでなく、朝食の内容の充実に向けた媒体を作成する。

